

会 員 各 位

令和5年10月吉日

京都市産業技術研究所内
西陣織物研究会
委員長 山崎 清一郎

令和5年度 第2回研究例会の開催について

秋涼の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究会の運営にひとかたならぬご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当研究会では研究例会を京染・精練染色研究会、京都染色研究会との共催により、下記のとおり開催する運びとなりました。ご多用とは存じますが万障お繰り合わせのうえ、是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時 令和5年11月8日(水) 16時00分～17時20分

場 所 1. 京都市産業技術研究所 2階 多目的ホール
京都市下京区中堂寺栗田町9-1 京都リサーチパーク 9号館南棟
(五条七本松西入南側) **駐車場有料**

2. Zoomによるオンライン視聴

主 催 京染・精練染色研究会、京都染色研究会

共 催 西陣織物研究会

参加費 無料

定 員 会場:60名^{*1}、Zoom 視聴^{*2}:100名(先着順)

※1: 原則として先着順ですが、1社から多数の申込みがあった場合、調整させていただくこともございます。

※2: 11月7日(火)に招待メールをお送りします。迷惑メール対策やドメイン指定受信等を設定されている方は、招待メールが受信できますよう、tc-kyoto.or.jpの登録をお願いいたします。

テーマ 「日本化薬の染料事業の変遷と現状、今後について」

講 師 日本化薬株式会社 執行役員 東京工場長 **赤谷 宜樹 氏**

1990年代以降、国内染料市場が縮小していく中、日本化薬は①中国での染料製造及び販売促進、②事業体制の変更、③新規分野の開拓などにより、染料事業の再構築を進めてきました。その結果、インクジェット用色材を柱として事業は復活し、売上規模も最盛期の約9割程度まで回復しております。繊維用染料については規模が小さくなったとはいえ、現在も色材事業の売上で約4分の1を占める重要な位置づけであり、今後も事業を通して、繊維産業の発展に少しでも貢献できるように努めて参ります。

申込方法 別紙の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX (075-326-6108) でお申込みください。

オンライン開催にあたっての注意点

- ・ インターネット環境、セキュリティ設定、動作環境によってはご視聴いただけない場合がございます。
- ・ 後日、視聴用の URL をメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催時刻の約 15 分前から、視聴サイトにログインできるよう準備いたしますので、早めにログインいただき、ご視聴ください。

※本人確認のため、接続時には必ず申込時の「お名前」をご使用ください。本人確認が取れない場合は、接続をお断りすることや、いったん接続したのち、接続を遮断させていただく場合がございます。

- ・ 講演内容に関して質問がある場合は、チャット欄にご記入ください。時間の許す範囲内で事務局から講師へ質問し、返答いただきます。
- ・ 本講演会で使用される資料や配信動画は著作物であり、録音・録画・複写・転載・配布・上映・販売等を禁止いたします。
- ・ 本講演会は、お申し込みいただいた方のみ受講いただけます。複数端末から同時視聴及び複数人での視聴は禁止いたします。

以 上